

2025年8月 全国百貨店売上高概況

2025年9月25日

I. 概況

1. 売上高総額	4, 139 億円余
2. 前年同月比（増減率）	
（1）全 国	2.6%（7か月ぶりプラス）
① 10都市（10地区）	2.9%（7か月ぶりプラス）
② 10都市以外（7地区）	1.4%（11か月ぶりプラス）
（2）国 内	3.5%（7か月ぶりプラス）
（3）インバウンド（免税売上）	-4.7%（6か月連続マイナス）※

※インバウンド（免税売上）は、別紙「免税売上高・来店動向」参照

【特徴】

8月の売上高は2.6%増と7か月ぶりに前年実績を上回った。前年の台風や大雨等による一部店舗の臨時休業・時短営業等マイナス影響の反動に加え、休日1日増のプラス与件から、入店客数も6.1%増（9か月ぶり）と前年を上回り、国内売上が好調に推移した。前年のインバウンド売上高増の反動影響も縮小。また、長引く残暑で盛夏商材が引き続き好調に推移した他、夏休みのファミリー向けイベントや物産展等の催事が奏功した。

インバウンド（免税売上）：売上高441億円（4.7%減/シェア10.7%）と6か月連続のマイナス。為替相場が前年並みに推移し、前年4月からの円安による高伸反動影響が落ち着き、マイナス幅は先月より31.6ポイント回復。化粧品を含む消耗品は4か月ぶりにプラス転換し二桁増。購買客数は49.4万人（8.9%増）で8月として過去最高を記録。中国、台湾の購買客数は二桁増。

国内市場：3.5%増（シェア89.3%）と7か月ぶりにプラス転換。10都市4.2%増（8地区プラス/札幌、仙台、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸、福岡）、地方（10都市以外の7地区）1.4%増（4地区プラス/関東、近畿、中国、四国）と共に改善。名古屋、大阪は二桁増。

都市（10都市）：札幌、東京、広島を除く7地区プラス。時計・宝飾等高額品や化粧品が好調で雑貨6.3%増。大阪は万博効果等もあり入店客数二桁増。

地方（10都市以外の7地区）：東北、中部を除く5地区プラス。美術・宝飾・貴金属は7.3%増と伸長。

商品別：主要5品目は、身のまわり品を除く4品目がプラス転換。各地で猛暑日が続く、衣料品はTシャツやカットソー等が好調に推移した他、洋品・雑貨は、日傘や帽子、サングラス等の盛夏商材が活況。化粧品はUV関連商品が好調。夏休み、お盆期間中は帰省や旅行者で入店客数が増え、手土産等のギフト需要も高まり菓子は5.1%増。客数増に伴い、レストランやビアガーデン等も好調で食堂喫茶は4.4%増と14か月ぶりプラス。

【要因・その他】

（1）天 候： 気象庁発表「8月の天候」の特徴は以下のとおり（一部抜粋）

◇気温は、北・東・西日本でかなり高く、統計を開始した1898年以降の8月として、2024年の記録と並び、2位タイの高温となった。降水量は、上旬後半から中旬はじめにかけては前線が本州付近に停滞し、東・西日本日本海側と九州南部を中心に、各地で線状降水帯が発生するなど、記録的な大雨となった所もあった。

（2）営業日数増減 30.6日（前年同月比 +0.2日）

（3）土・日・祝日の合計 11日（ 〃 日曜日2日増、祝日1日減）

（4）入店客数増減（回答店舗数で見る傾向値／前年同月比／有効回答数102店舗）

①増加した：59店、②変化なし：22店、③減少した：21店

（5）調査対象百貨店 70社 178店（本年7月対比：±0店）（前年同月比：-1社+1店）

（6）総店舗面積 4,493,420㎡（前年同月比：-0.8%）

全国百貨店 売上高速報 2025年8月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後（ ）が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	413,971,703	100.0	2.6
10都市	324,135,380	78.3	2.9
札幌	12,276,242	3.0	-0.4
仙台	5,143,140	1.2	2.8
東京	118,285,958	28.6	-2.3
横浜	25,631,448	6.2	6.3
名古屋	30,575,162	7.4	8.3
京都	18,828,266	4.5	1.4
大阪	77,700,985	18.8	9.6
神戸	11,552,307	2.8	6.6
広島	5,575,062	1.3	-3.6
福岡	18,566,810	4.5	2.5
10都市以外の地区	89,836,323	21.7	1.4
東北	3,402,108	0.8	-3.1
関東	40,257,462	9.7	1.7
中部	5,294,191	1.3	-1.5
近畿	15,178,467	3.7	1.7
中国	7,008,264	1.7	3.3
四国	4,632,780	1.1	6.4
九州	14,063,051	3.4	0.1

注) 2023年2月より、北海道の1店舗を地区区分10都市の札幌に合算しております。

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	413,971,703	100.0	2.6
紳士服・洋品	17,112,183	4.1	-2.0
婦人服・洋品	70,485,161	17.0	3.0
子供服・洋品	5,087,246	1.2	4.3
その他衣料品	5,197,471	1.3	0.1
衣 料 品	97,882,061	23.6	2.0
身のまわり品	70,470,826	17.0	-0.5
化粧品	38,811,999	9.4	6.1
美術・宝飾・貴金属	45,019,379	10.9	5.4
その他雑貨	13,597,106	3.3	7.6
雑 貨	97,428,484	23.5	6.0
家 具	2,897,733	0.7	-14.5
家 電	1,643,646	0.4	11.4
その他家庭用品	9,588,559	2.3	4.9
家 庭 用 品	14,129,938	3.4	0.9
生 鮮 食 品	17,363,507	4.2	-1.1
菓 子	35,623,302	8.6	5.1
惣 菜	25,858,389	6.2	3.9
その他食料品	25,879,976	6.3	1.1
食 料 品	104,725,174	25.3	2.7
食 堂 喫 茶	12,010,754	2.9	4.4
サ ー ビ ス	5,008,110	1.2	19.8
そ の 他	12,316,356	3.0	-6.5
商 品 券	4,444,439	1.1	-8.5

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

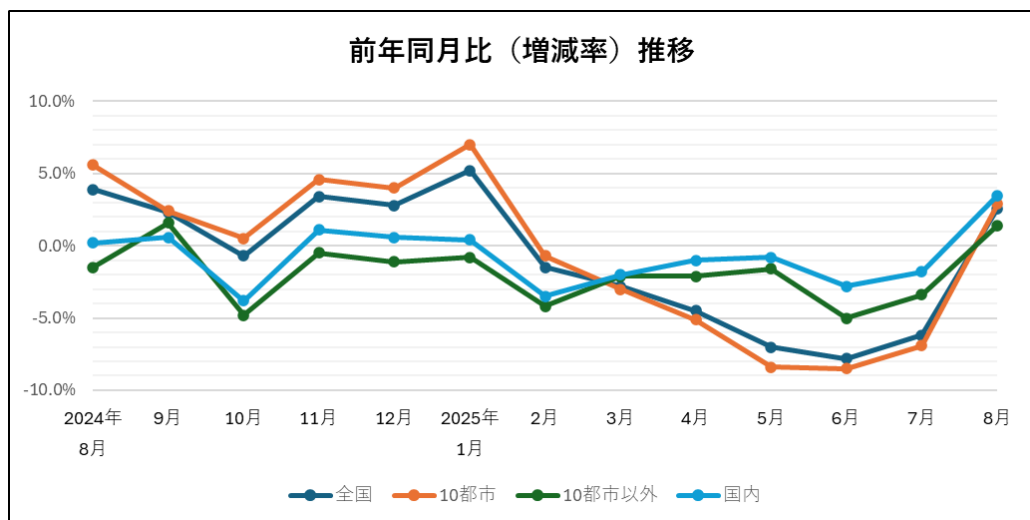
地区	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
10都市	2.9	2.3	7か月ぶりプラス
札幌	-0.4	-0.0	5か月連続マイナス
仙台	2.8	0.0	3か月ぶりプラス
東京	-2.3	-0.7	7か月連続マイナス
横浜	6.3	0.4	7か月ぶりプラス
名古屋	8.3	0.6	4か月ぶりプラス
京都	1.4	0.1	7か月ぶりプラス
大阪	9.6	1.7	6か月ぶりプラス
神戸	6.6	0.2	4か月ぶりプラス
広島	-3.6	-0.1	24か月連続マイナス
福岡	2.5	0.1	7か月ぶりプラス
10都市以外の地区	1.4	0.3	11か月ぶりプラス
東北	-3.1	-0.0	2か月ぶりマイナス*
関東	1.7	0.2	11か月ぶりプラス
中部	-1.5	-0.0	7か月連続マイナス
近畿	1.7	0.1	3か月ぶりプラス
中国	3.3	0.1	14か月ぶりプラス*
四国	6.4	0.1	4か月ぶりプラス
九州	0.1	0.0	11か月ぶりプラス

(注1) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

(注2) 2023年2月より、北海道の1店舗を地区区分10都市の札幌に合算した。

【前年同月比(増減率)推移】

	2024年 8月	9月	10月	11月	12月	2025年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全 国	3.9	2.3	-0.7	3.4	2.8	5.2	-1.5	-2.8	-4.5	-7.0	-7.8	-6.2	2.6
10 都 市	5.6	2.4	0.5	4.6	4.0	7.0	-0.7	-3.0	-5.1	-8.4	-8.5	-6.9	2.9
10 都 市 以 外	-1.5	1.6	-4.8	-0.5	-1.1	-0.8	-4.2	-2.1	-2.1	-1.6	-5.0	-3.4	1.4
国 内	0.2	0.6	-3.8	1.1	0.6	0.4	-3.5	-2.0	-1.0	-0.8	-2.8	-1.8	3.5



Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は身のまわり品を除く4品目がプラスとなった。
その他の品目は婦人服・洋品、子供服・洋品、美術・宝飾・貴金属が7か月ぶりにプラスとなったほか、菓子・菓子が2か月ぶり、惣菜が3か月ぶりにプラスとなった。一方、紳士服・洋品が7か月連続、生鮮食品が17か月連続でマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
総額	2.6	—	7か月ぶりプラス
紳士服・洋品	－2.0	－0.1	7か月連続マイナス
婦人服・洋品	3.0	0.5	7か月ぶりプラス
子供服・洋品	4.3	0.1	7か月ぶりプラス
その他衣料品	0.1	0.0	3か月ぶりプラス
衣料品	2.0	0.5	7か月ぶりプラス
身のまわり品	－0.5	－0.1	7か月連続マイナス
化粧品	6.1	0.5	3か月ぶりプラス*
美術・宝飾・貴金属	5.4	0.6	7か月ぶりプラス*
その他雑貨	7.6	0.2	4か月連続プラス*
雑貨	6.0	1.4	6か月ぶりプラス
家具	－14.5	－0.1	5か月連続マイナス
家電	11.4	0.0	9か月連続プラス
その他家庭用品	4.9	0.1	5か月ぶりプラス
家庭用品	0.9	0.0	5か月ぶりプラス
生鮮食品	－1.1	－0.0	17か月連続マイナス*
菓子	5.1	0.4	2か月ぶりプラス*
惣菜	3.9	0.2	3か月ぶりプラス*
その他食料品	1.1	0.1	3か月ぶりプラス*
食料品	2.7	0.7	3か月ぶりプラス
食堂喫茶	4.4	0.1	14か月ぶりプラス
サービス	19.8	0.2	3か月ぶりプラス
その他	－6.5	－0.2	2か月連続マイナス
商品券	－8.5	－0.1	18か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・青柳 まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>